

報告事項 その1

第7期（2017年4月1日～2018年3月31日まで）事業報告

1. 【事業-1】 CIE 本部活動支援協力事業

主な活動として、2017年10月のCIE 2017中間大会（済州島，韓国）での総会，および各部会会議，TC会議に関する活動，ISO/TC 274に関する活動，およびCIE本部からの問合せへの対応などを行った。詳細を以下に示す。

1.1 ISO/CIE 規格国内審議委員会（斎藤孝委員長）

今年度はCIEが主導で見直すシステムティックレビューがなかったため，委員会を開催しなかった。

1.2 ISO/TC 274 関係（竹下秀理事）

第5回総会およびWG会議はThe Netherlands Standardization Institute (NEN) の招待でデルフト（オランダ）において2017年6月6日（水）から9日（金）に開催された。第5回総会の決議内容と総会決議に基づくその後の動きは以下の通りである。

- Resolution 48 (Delft, 2017) / Résolution 48 (Delft, 2017)

ISO 30061 “Emergency lighting” のシステムティックレビュー（SR）対応について

ISO/TC 274 は，SR 結果と Coordination Committee (CoCo) の勧告に注視する。また，どの国もプロジェクトリーダーを派遣できないことにも注視する。これにより，ISO/TC 274 はこの規格を確認とする。

- Resolution 49 (Delft, 2017) / Résolution 49 (Delft, 2017)

ISO 11664-1:2007, Colorimetry -- Part 1: CIE Standard Colorimetric observers のSR対応について

ISO/TC 274 は，SR 結果と CoCo の勧告に注視する。ISO/TC 274 は，この規格のマイナーな修正をCIEによって実施を開始することを決定する。

- Resolution 50 (Delft, 2017) / Résolution 50 (Delft, 2017)

ISO 11664-3:2012, Colorimetry -- Part 3: CIE Tristimulus Values のSR対応について

ISO/TC 274 は，SR 結果と CoCo の勧告に注視する。ISO/TC 274 は，この規格のマイナーな修正をCIEによって実施を開始することを決定する。

- Resolution 51 (Delft, 2017) / Résolution 51 (Delft, 2017)

ISO 11664-4:2008, Colorimetry - Part 4: CIE 1976 L*a*b* Colour Space のSR対応について

ISO/TC 274 は，SR 結果と CoCo の勧告に注視する。ISO/TC 274 は，この規格のマイナーな修正をCIEによって実施を開始することを決定する。

- Resolution 52 (Delft, 2017) / Résolution 52 (Delft, 2017)

ISO 17166:1999, Erythema Reference Action Spectrum and Standard Erythema Dose のSR対応について

ISO/TC 274 は，SR 結果と CoCo の勧告に注視する。ISO/TC 274 は，この規格のマイナーな修正をCIEによって実施を開始することを決定する。

- Resolution 53 (Delft, 2017) / Résolution 53 (Delft, 2017)

ISO/TC 274 戦略的ビジネスプランの改訂について (N310)

ISO/TC 274 は、ISO/TC 274/CAG の作業に注意を払い、N 335 に従っていくつかの小さな訂正を加えて、戦略的ビジネスプランに提案された新しい本文に同意する。附属書 1 は、それが別々に承認された後に追加する。

- Resolution 54 (Delft, 2017) / Résolution 54 (Delft, 2017)
IESNA (北米照明学会) とのリエゾン設立について
ISO/TC 274 は、IESNA “Illuminating Engineering Society of North America” とのリエゾンを、Mr. John O'Hagan (UK) をリエゾン担当として設立することを決定する。
- Resolution 55 (Delft, 2017) / Résolution 55 (Delft, 2017)
ISA (International Solid State Lighting Alliance) とのリエゾン設立について
ISO/TC 274 は、ISA “International Solid State Lighting Alliance” とのリエゾンを Ms. Wei Gao (CN) をリエゾン担当として設立することを決定する。
- Resolution 56 (Delft, 2017) / Résolution 56 (Delft, 2017)
IEEE とのリエゾン設立について
ISO/TC 274 は、IEEE “Institute of Electrical and Electronics Engineers” とのリエゾン設立を決定し、リエゾン担当者の募集を開始する。
- Resolution 57 (Delft, 2017) / Résolution 57 (Delft, 2017)
ASHRAE とのリエゾン設立について
ISO/TC 274 は、ASHRAE “American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers” とのリエゾンを、Mr. Toby Lau (CA) をリエゾンオフィサーとして設立することを決定する。
- Resolution 58 (Delft, 2017) / Résolution 58 (Delft, 2017)
ISO/TC 159/SC 4 とのリエゾン設立について
ISO/TC 274 は、ISO/TC 159/SC 4 “Ergonomics of Human System Interaction” とのリエゾンを、Mr. Tongsheng Mou (CN) をリエゾンオフィサーとして設立することを決定する。
- Resolution 59 (Delft, 2017) / Résolution 59 (Delft, 2017)
ISO/TC 274/WG 1 コンビナーの承認
ISO/TC 274 は、WG1 からの勧告に注視し、WG 1 のコンビナーである Mr. Sohél Moghtader (DE) の任期を 3 年間延長する (2018-2021)。
- Resolution 60 (Delft, 2017) / Résolution 60 (Delft, 2017)
ISO 20086 のタイトル変更
ISO/TC 274 は ISO/TC 274/WG 1 からのタイトル変更勧告を受け入れ、ISO 20086 のタイトルを “Light and Lighting - Energy Performance of Lighting in Buildings” とする。また、編集上の修正を行った後、DIS 投票を実施する。
- Resolution 61 (Delft, 2017) / Résolution 61 (Delft, 2017)
ISO/TC 205/WG3 へのエキスパート登録について
ISO/TC 274 は、Mr. Sohél Moghtader (DE) を、ISO/TC 274 から ISO/TC 205/WG 3 へのエキスパートとして登録することを決定する。
- Resolution 62 (Delft, 2017) / Résolution 62 (Delft, 2017)
ISO/TC 274/WG 3 のタイトル修正

ISO/TC 274 は、CIE JTC 11 との協業開始によって、WG3 のタイトルを “Maintenance Factor (Joint Working Group with CIE JTC 11)” と変更することを決定する。

- Resolution 63 (Delft, 2017) / Résolution 63 (Delft, 2017)

第 6 回総会について

ISO/TC 274 は Standards Council of Canada (SCC) からの招待を受け、第 6 回総会を開催することを決定する。第 6 回総会はトロントにおいて 2018 年 5 月 28 日から 6 月 1 日にかけて、開催予定である。

- Resolution 64 (Delft, 2017) / Résolution 64 (Delft, 2017)

第 7 回総会について

ISO/TC 274 は、Swedish Standards Institute (SIS) からの招待を受け、第 7 回総会を開催することを決定する。第 7 回総会は、ストックホルムにて、2019 年 5 月 20 日から 5 月 24 日にかけて、開催予定である。

国内審議委員会は、平成 29 年 5 月 15 日、平成 29 年 12 月 1 日、平成 30 年 2 月 22 日の合計 3 回開催した。第 1 回委員会では ISO 30061/CIE S 020 非常照明のプロジェクトリード募集及び総会対応方針を審議した。第 2 回委員会では、総会の内容を報告した。第 3 回委員会では、ISO 8995-1 の SR の対応方針を審議した。SR 審議を実施した ISO/CIE 規格は次のとおりである。

- ISO 11664-1:2007 (CIE S014-1) Colorimetry -- Part 1: CIE Standard Colorimetric Observers
- ISO 11664-3:2012 (CIE S014-3) Colorimetry -- Part 3: CIE Tristimulus Values
- ISO 11664-4:2008 (CIE S014-4) Colorimetry -- Part 4: CIE 1976 L*a*b* Colour Space
- ISO 17166:1999 Erythema Reference Action Spectrum and Standard Erythema Dose
- ISO 16508:1999 (CIE S 006) Road traffic lights -- Photometric Properties of 200 mm Roundel Signals
- ISO 8995-1:2002 (CIE S 008) Lighting of Work Places -- Part 1: Indoor

さらに、ISO 23539/CIE S 010 “Photometry - The CIE System of Physical Photometry” の翻訳 JIS 原案作成委員会を組織し、翻訳 JIS 原案作成作業を実施した。

1.3 SSL 委員会の活動（斎藤孝委員長）

SSL 委員会は、LED や有機 EL などの固体素子照明 (SSL) に対する測光方法や各種評価技術など、CIE が所掌する領域において、部会横断型の情報共有、ならびに効果的な戦略立案に対応するために 2011 年に設立し、活動してきた。ここ数年は開催しておらず、SSL に関する情報交換、および戦略立案については一定の目的に達し、今後、定例の委員会開催の必要性が低下したと判断し、2018 年 3 月に解散した。

1.4 JCIE の国際活動（斎藤孝会長）

現在、JCIE からは、CIE 理事会に中村芳樹副会長、第 1 部会に伊藤納奈副部会長、第 2 部会に葺洋司副部会長、第 3 部会に吉澤望副部会長、第 6 部会に竹下秀副部会長が就任し、CIE の関連活動を積極的に推進・支援している。

2. 【事業-2】 調査研究・技術活動事業

国内活動では、部会国内委員会および特別技術委員会、国内技術委員会を組織・運営し、各部会および技術委員会（TC）、レポーターの活動状況の整理、ドラフト内容の検討および国内意見の集約、コメント・投票への対処方針の検討などを中心に行った。国際活動では、部会会議、TC 会議、CIE 2017 中間大会などへのメンバーの参加を通じ、部会会議や TC 会議での審議に際しての国内意見の反映を図ったほか、最新の研究動向の把握や研究成果の発信等にも努めた。また、特別技術委員会を組織している TC を中心に、日本主導での国際標準化活動および関連する技術活動の推進を図った。国際標準化活動については、ISO/TC 274 国内審議委員会との連携の下、まとまった形での日本意見の発信に努めた。さらに、技術的見地から JCIE セミナーの企画立案を行った。

2.1 技術運営委員会（薮洋司委員長）

技術運営委員会は、各部会国内委員会および特別技術委員会、国内技術委員会を統括する委員会であり、技術的な側面を中心に、部会、TC、レポーターなどの活動状況を把握・共有すると共に、日本照明委員会としての対応方針の策定に係る全体的な審議・検討を行っている。平成 29 年度は以下の活動を行った。

- ・技術運営委員会を計 7 回（集合会議：3 回、書面審議：4 回）開催し、CIE の各部会、TC、レポーターの活動状況およびドラフトの審議、投票・コメント等への対応方針の把握、国内技術活動の体制整備、活動状況の把握、関係団体との調整ならびに国際活動の支援に関する審議などを行った。
- ・前年度に引き続き、技術運営委員会の運営においては、電子メールによる書面審議を最大限活用し、タイムリーな審議の実施を心がけた。
- ・集合会議となった第 2 回委員会（平成 29 年 5 月 31 日）では、平成 29 年度から平成 30 年度にかけての国内審議体制の整備を目的として、委員名簿や規定の改正に関する審議を中心に行った。第 4 回委員会（平成 29 年 10 月 11 日）では、濟州島（韓国）での CIE 2017 中間大会に併設される部会会議、TC 会議等の対処方針の協議を目的として、各部会国内委員会、特別技術委員会の活動状況を共有すると共に、懸案事項の整理を行った。第 6 回委員会（平成 29 年 12 月 20 日）では、2017 年度の各部会の部会会議、TC 会議等の報告を受け、今後の対応方針に関する協議を中心に行った。
- ・書面審議となった第 1 回（平成 29 年 4 月 7 日～同 14 日）、第 3 回（平成 29 年 6 月 21 日～同 27 日）、第 5 回（平成 29 年 11 月 10 日～同 17 日）、第 7 回（平成 30 年 2 月 22 日～同 23 日）では、部会国内委員長の選出に係る審議、委員名簿の追加（就任・交代等）審議、第 4 部会と第 5 部会の統合を受けた第 5 部会国内委員会の解散に関する審議、平成 30 年度の重点活動支援に関する技術面での審議などを行った。
- ・第 33 回日本照明委員会大会（韓国・濟州島中間大会報告：平成 29 年 12 月 8 日）において、各部会国内委員長から、2017 年度の部会および TC 等の動向に関する講演を行った。
- ・第 39 回（適切な屋外照明環境の実現のために、平成 29 年 6 月 20 日開催）、第 40 回（光源の演色評価は新時代へ、平成 29 年 9 月 14 日）、第 41 回（視覚生理に基づく基本色度図、平成 30 年 5 月 15 日開催）の各 JCIE セミナーについて、主に技術的見地からの企画立案および事業支援を行った。

2.2 国内の活動

(1) 第1部会「視覚と色」国内委員会（溝上陽子委員長）

今年度は、国内委員会を CIE 2017 中間大会前の平成 29 年 10 月 5 日に開催した。参加者は 11 名（Web 参加を含む）であった。第 1 部会内の TC および R のリスト確認及びそれぞれの活動状況報告を行った。新委員の承認、新規 R 及び JTC について国内委員会としての対応や、CIE 170-1 および CIE 170-2 に関する JCIE セミナーの計画についても検討した。また、委員長の交代および委員長、副委員長、幹事の 3 役体制への移行が検討され、後のメール審議で承認された。その他、部会投票・部会コメントへの対応等について、メール審議を適宜行った。

(2) 第2部会「光と放射の物理測定」国内委員会（蔀洋司委員長）

平成 29 年度の第 2 部会国内委員会は、委員長と幹事を含め計 30 名（内訳 産：18 名、学：4 名、官：8 名）の委員で構成されている。平成 29 年度の主な活動として、国内委員会の開催（計 2 回）、第 2 部会会議・TC 会議への参加（平成 29 年 10 月：濟州島）、ドラフトに対する部会投票・コメントへの対応、TC 設立提案に対する部会投票への対応、日本照明委員会大会での部会会議報告、JCIE 誌での報告記事の執筆、ホームページ上での情報発信などを行った。

国内委員会は、平成 29 年 10 月 6 日（第 1 回）および同 12 月 11 日（第 2 回）に開催した。出席者数は、第 1 回が 17 名、第 2 回が 16 名であった。第 1 回委員会では、濟州島（韓国）で開催された 2017 年度部会会議および各 TC 会議の対処方針協議を主たる議題とした。第 2 回委員会では、濟州島で行われた部会会議での主な決定事項・討議事項の報告、および TC 設立提案をはじめとする部会投票案件への意見集約などを行った。また、国内委員会の開催の都度、各 TC の活動状況のレビューを行い、懸案事項の整理や対応方針の協議を行った。また前年度と同様、部会投票・部会コメントへの対応については、メール審議を活用し、迅速な審議を心がけたほか、ドラフト審議についてはレビューチームを結成して集中的な審議の実現を図った。

(3) 第3部会「屋内環境と照明設計」国内委員会（望月悦子委員長）

第 3 部会国内委員会は、委員長と幹事を含め計 16 名の委員で構成されている。平成 29 年度は、メール会議を 8 回開催した。第 3 部会に関わる技術報告書（TR）、テクニカルノート（TN）に対する部会投票・コメントへの対応、第 3 部会に関わる JTC の共同委員長、ISO/TC 274 や CEN の WG に関わるリエゾンメンバーの選出、ISO/TC 274 における新規業務提案に対する投票について審議した。また、10 月に濟州島（韓国）で開催された部会会議、各 TC の活動状況について報告した。

(4) 第4部会「交通と屋外の照明」国内委員会（内田達清委員長）

CIE 第 4 部会・第 5 部会の統合にあわせ、第 5 部会国内委員会は解散しその委員は第 4 部会国内委員会に合流した。これにより、第 4 部会国内委員会は委員長と幹事を含め計 25 名の委員で構成されることとなった。また、部会名称も「交通用の照明と信号」から「交通と屋外の照明」に変更となった。

国内委員会を平成 30 年 1 月 15 日に開催し、CIE 2017 中間大会で開催された部会会議や関連 TC 活動の動向についての検討、今後の活動方針、及び情報交換を行った。出席者は 9 名（Web 参加を含む）であった。また、部会投票・部会コメントについては都度メール審議を行った。

(5) 第5部会「屋外及びその他の照明応用」国内委員会（斎藤孝委員長）

2017年10月にCIE第5部会が第4部会に統合したことをうけて、国内の体制も変更し、第5部会国内委員会を解散し、その活動を第4部会国内委員会内で推進することとした。

(6) 第6部会「光生物学と光化学」国内委員会（竹下秀委員長）

国内委員会を平成30年3月27日に開催した。部会会議、現在活動中のTC/R/JTCの活動状況及びISO/TC 274における関連活動、ならびに他団体における関連活動の報告があった。

(7) 第8部会「画像技術」国内委員会（会津昌夫委員長）

国内委員会は、昨年に新TC、新Reportershipの開始があり、国際でも進捗確認のフェーズであったので、物理開催は行わず、メールによる情報共有と、投票案件の審議のみとした。投票審議案件は、JTC 10 (CIECAM16)の国内技術委員会の設立（賛成）、“The measurement of sparkle and graininess”に関するJTC（第2部会と第1部会のJoint Technical Committee）への第8部会参加の可否の投票（賛成）、spectral imagingに関するResearch Forum（RF）の提案（賛成）。

2.3 国外の活動

(1) CIE第1部会「視覚と色」（溝上陽子部会委員）

<部会会議開催日、開催場所>

日時：2017年10月27日（金）8:15 - 12:00

場所：Ramada Plaza Jeju Hotel（済州島，韓国）

<会議の出席者>

会議の出席者は、部会幹事、22ヶ国の代表、TCC、レポーター、さらにゲスト12名を含む42名であった。

日本からの出席者：伊藤納奈（産業技術総合研究所：副部会長）、溝上陽子（千葉大学：部会委員）、明石行生（福井大学）、坂本隆（産業技術総合研究所）、大住雅之（オフィスカラーサイエンス）、向健二（パナソニック(株)）

<TC新設提案>

なし

<R新設提案>

- ・ Applicability of Metrics for Evaluating Reflected Glare on Displays（Shao-Tang Hung, TW）

<RF新設提案>

- ・ A Practicable Approach for the Evaluation and Specification of Colour Rendition Properties of White-Light Sources 白色光源の演色特性の評価と設計のための実用的アプローチ（Kees Tuenissen, NL）

<TCの終了・解散>

なし

<Rの終了・解散>

なし

(2) CIE 第2部会「光と放射の物理測定」(蔀洋司部会委員)

<部会会議開催日, 開催場所>

日時: 2017年10月26日(木) 8:25 - 17:25

場所: Ramada Plaza Jeju Hotel (済州島, 韓国)

<会議の出席者>

加盟37カ国中, 23カ国の部会委員(代理7名を含む)のほか, 全体で63名が出席した。

日本からの出席者: 蔀洋司(産総研:部会委員・副部会長), 山内泰樹(山形大学), 山田正之(コニカミノルタ(株)), 他1名

<TC新設提案>

- The measurement of Sparkle and Graininess (光輝感および粒状性の測定)
- Guidance Relating to $0^\circ:d(d:0^\circ)$ Reflectance Instruments ($0^\circ:d(d:0^\circ)$ 幾何条件での反射率測定機器に関するガイド文書)
- CIE/ISO Standard on LED Packages (LEDパッケージの試験方法に関するCIE/ISO標準)
- Characterization and Measurement of LED Light Sources with Dynamic Control (動的制御を伴うLED光源の特性評価および測定)

このほか, BRDFデータの統一かつ効果的な活用・運用のための方策を検討するための枠組みとして, リサーチフォーラム(BRDF Data Handling and Visualization:BRDFデータの取り扱いと視覚化)が提案された(提案者:G. Obein, FR)。BRDFデータのフォーマット, 視覚化のモデル, パラメータ, 記述子などについて, 部会横断型の検討を行う計画である。

<R新設提案>

- R2-76 (LEDランプ, モジュール, 照明器具の試験における測定不確かさに関するTechnical Note作成)
- R2-77 (光源の光生物学的安全性に関連する量の測定)
- R2-78 ($0^\circ:d(d:0^\circ)$ 幾何条件での反射率測定機器に関連するガイド文書のニーズ調査)
- R2-79 (全透過率, 拡散透過率, および透過測定)

<TCの終了・解散>

- TC2-47 (紫外放射計の特性記述および校正方法)
- TC2-63 (ハイパワーLEDの光学測定)
- TC2-64 (LEDの高速試験方法)
- TC2-65 (薄明視における測光)

<Rの終了・解散>

- R2-52 (SSLに対するフリッカーの測定および指標化)
- R2-57 (IEC-TR 62778の審議状況のモニター)
- R2-74 (アピランス等の視覚効果の物理的評価)
- R2-78 ($0^\circ:d(d:0^\circ)$ 幾何条件での反射率測定機器に関連するガイド文書のニーズ調査)

(3) CIE 第3部会「屋内環境と照明設計」(望月悦子部会委員)

<部会会議開催日, 開催場所>

日時: 2017年10月26日(木) 14:38 - 17:20

場所: Ramada Plaza Jeju Hotel (済州島, 韓国)

<会議の出席者>

15ヶ国から28名（うち投票権のあるメンバー7名）が参加した。

日本からの出席者：明石行生（福井大学大学院），秋月有紀（富山大学），鈴木直行（遠藤照明(株)），原直也（関西大学），向健二（パナソニック(株)），望月悦子（千葉工業大学：部会委員），吉澤 望（東京理科大学：副部長（人工照明））

<TC 新設提案>

なし

<R 新設提案>

- ・CIE 60: 1984 Vision and the Visual Display Unit Work Station CIE 60: 1984 視覚と VDU 作業場(未定)
- ・Resilient Lighting レジリエントな照明（未定）

<TC の終了・解散>

- ・TC 3-44 高齢者および視覚障害者のための照明
- ・TC 3-48 照明率計算法の CIE 規格
- ・TC3-49 照明制御手法の決定スキーム
- ・TC 3-53 屋内作業場の照明基準(CIE S 008/E:2001) の改訂

<R の終了・解散>

なし

(4) CIE 第4部会「交通と屋外の照明」（内田達清部会委員）

<部会会議開催日，開催場所>

日時：2017年10月26日（木）11:30 - 12:30（前半），15:45 - 19:30（後半）

場所：Ramada Plaza Jeju Hotel（済州島，韓国）

<会議の出席者>

投票権を持つ部会委員20名，オブザーバー16名の合計36名が参加した。

日本からの出席者：内田達清（パナソニック(株)：部会委員）

<TC 新設提案>

以下の6件の新設提案が準備中であることが報告された。

- ・再帰反射の交通標識の要件（旧 TC4-40）
- ・自然環境への照明の影響（旧 TC5-27）
- ・道路照明の可視度設計（旧 TC4-36）
- ・信号灯（300 mm）（旧 TC4-46）
- ・投光照明のガイド
- ・色光と動的照明による住宅への光害のガイド

<R 新設提案>

以下のレポーターシップの新設提案が準備中であることが報告された。

- ・オープンキャスト鉦山の照明

<RF 新設提案>

以下のリサーチフォーラムが設立されることが報告された。

- ・D4 関連文書のレビュー

- ・研究戦略
- ・標準化戦略
- ・自転車用照明
- ・CIE 115 の改訂

(5) CIE 第 6 部会「光生物学と光化学」（竹下秀部会委員）

<部会会議開催日，開催場所>

日時：2017 年 10 月 26 日（木）8:30 - 11:00

場所：Ramada Plaza Jeju Hotel（済州島，韓国）WebEx 併用

<会議の出席者>

日本からの参加者：竹下秀（東海大学：副部会長，WebEx にて出席）

<TC 新設提案>

- ・ A. R. Webb (GB) より，ビタミン D 作用スペクトルの見直しを実施してはどうかとの提案があった。提案書を準備し，TC メンバーを探す。

<R 新設提案>

- ・ Lorna Wen (CN) より，中国国内における眼の健康（特に近視）および光学的曝露に関する活動の紹介があり，関連レポーターシップの提案があった。提案は，多岐にわたっており，作業内容を絞り込み，提案するようにとの指摘がなされた。

<TC の終了・解散>

なし

<R の終了・解散>

なし

(6) CIE 第 8 部会「画像技術」（会津昌夫部会委員）

<部会会議開催日，開催場所>

日時：2017 年 9 月 13 日（水）18:00 - 20:00（現地）

場所：Scandic Lillehammer Hotel（リレハンメル，ノルウェー）（オンライン参加もあり）

<会議の出席者>

出席者は 32 名。

日本からの出席者：国場英康（(株)ニコン），山口雅浩（東京工業大学），山内泰樹（山形大学），他 1 名

<TC 新設提案>

なし

<R 新設提案>

なし

<TC の終了・解散>

なし

<R の終了・解散>

なし

(7) CIE Joint TC

- ・ JTC 01 CIE 191の導入：屋外照明の薄明視における測光

<TC会議開催日，開催場所>

開催日時：2017年6月7日（水）

場所： WebEx

開催日時：2017年9月27日（水）

場所： WebEx

開催日時：2017年10月27日（金）

場所： Ramada Plaza Jeju Hotel（済州島，韓国）

開催日時：2017年12月6日（水）

場所： WebEx

開催日時：2018年2月13日（火）

場所： WebEx

- ・ JTC 02 測光通則（光度単位カンデラの現示方法）

2017年度は開催なし

- ・ JTC 04 日中の建物における窓の視覚，健康，環境に対する効果

<TC会議開催日，開催場所>

日時：2017年10月27日（金）15:45 - 18:45

場所： Ramada Plaza Jeju Hotel（済州島，韓国）

- ・ JTC 05 CIE S 009/IEC 62471の見直し

<TC会議開催日，開催場所>

日時：2017年10月26日（木）14:15 - 17:15

場所： Ramada Plaza Jeju Hotel（済州島，韓国）

日時：2017年11月9日（木）9:45 - 11:35

場所： CEI - Comitato Elettrotecnico Italiano（ミラノ，イタリア）

- ・ JTC 06 建築空間における照明のエネルギー効率

日時：2018年1月31日（水）

場所： DIN（ベルリン，ドイツ）

- ・ JTC 07 不均一輝度光源の不快グレア

<TC会議開催日，開催場所>

日時：2017年10月27日（金）12:45 - 15:45

場所： Ramada Plaza Jeju Hotel（済州島，韓国）

・ JTC 08 光と照明の専門用語

<TC会議開催日, 開催場所>

日時：2017年10月26日（木）12:45 - 14:15

場所：Ramada Plaza Jeju Hotel（済州島, 韓国）

・ JTC 09 非視覚系光受容細胞への光作用量定量化

<TC会議開催日, 開催場所>

日時：2017年4月19日（水）

場所：WebEx

日時：2017年5月17日（水）

場所：WebEx

日時：2017年6月21日（水）13:00 - 18:00

場所：DIN本部ビル会議室（ベルリン, ドイツ）

日時：2017年9月27日（水）

場所：WebEx

日時：2017年11月22日（水）

場所：WebEx

・ JTC 10 カラーマネージメントシステムにおける新たな色の見えモデル: CIECAM16

<TC会議開催日, 開催場所>

日時：2017年10月26日（木）15:45 - 17:45

場所：Ramada Plaza Jeju Hotel（済州島, 韓国）

・ JTC 11 保守率（CIE 97・CIE 154のISO規格化）

<TC会議開催日, 開催場所>

日時：2017年10月27日（金）15:45 - 18:45

場所：Ramada Plaza Jeju Hotel（済州島, 韓国）

日時：2018年3月5日（月）13:00 - 17:00, 3月6日（火）9:00 - 13:00

場所：UNI（ミラノ, イタリア）

・ JTC 12 The measurement of Sparkle and Graininess

<TC会議開催日, 開催場所>

日時：2017年10月27日（金）15:45 - 18:45

場所：Ramada Plaza Jeju Hotel（済州島, 韓国）

3. 【事業-3】国内普及・啓蒙事業

主な活動として、第33回日本照明委員会大会、第39回、第40回JCIEセミナーを開催した。また、日本照明委員会誌の定期発行、ホームページの更新、CIE・JCIE出版物の販売を行った。詳細を以下に示す。

3.1 事業運営委員会（小谷朋子委員長）

事業運営委員会を5回（平成29年4月25日・8月22日・11月20日・平成30年1月18日・2月26日）開催し、以下の事業活動について審議し、実行した。

- ・第33回日本照明委員会大会（平成29年12月8日）を開催した。参加者は23名であった。
- ・第39回JCIEセミナー「適切な屋外照明環境の実現のために－屋外照明設備による障害光規制ガイド改訂および光と照明に関する国際標準化の最新動向－」（平成29年6月20日）を開催した。参加者は21名であった。
- ・第40回JCIEセミナー「光源の演色評価は新時代へ」（平成29年9月14日）を開催した。参加者は68名であった。
- ・第8回定時総会、第41回JCIEセミナーの開催を準備した。

今後、日本照明委員会が注力すべき事業活動について議論を行い、平成30年度の事業計画を理事会に提案した。

会誌編集委員会・ホームページ委員会・出版委員会の委員を承認し、活動内容を管理した。各委員会の活動内容を以下に示す。

(1) 会誌編集委員会（角建志委員長）

日本照明委員会誌を以下のように発行した。

平成29年4月1日 第34巻第1号（通巻No.190）

平成29年8月1日 第34巻第2号（通巻No.191）

平成29年12月1日 第34巻第3号（通巻No.192）

また、今年度より費用削減を目的とした全原稿のカメラレディ化を実施した。

(2) ホームページ委員会（角建志委員長）

イベント情報、出版物等、随時更新作業を実施した。技術情報については、技術運営委員会の開催に合わせ更新を実施した。

(3) 出版委員会（笹川智広委員長）

ホームページ、会誌でCIE、JCIE出版物の案内をするとともに、メールによる出版物案内を継続した。

また、セミナー時に関連出版物を紹介・案内し、さらに、LED NEXT STAGE（2018年3月6日～9日）のブースにおいて、出版物のPRを行った。

CIE 224:2017 CIE 2017 Colour Fidelity Index for accurate scientific use

CIE 225:2017 Optical Measurement of High-Power LEDs

CIE 226:2017 High-Speed Testing Methods for LEDs

CIE 227:2017 Lighting for Older People and People with Visual Impairment in Buildings

CIE 228:2018 Grey-Scale Calculation for Self-Luminous Devices

CIE 150:2017 Guide on the Limitation of the Effects of Obtrusive Light from Outdoor Lighting Installations, 2nd Edition

TN 007:2017 Interim Recommendation for Practical Application of the CIE System for Mesopic

Photometry in Outdoor Lighting

TN 008:2017 Final Report CIE Stakeholder Workshop for Temporal Light Modulation Standards for Lighting Systems

CIE x044:2017 Proceedings of the Conference on "Smarter Lighting for Better Life" at the CIE Midterm Meeting 2017 October 23 – 25, 2017 Jeju, South Korea

3.2 第33回日本照明委員会大会－韓国・済州島中間大会報告－

- ・日時：平成29年12月8日（金）
- ・場所：中央大学駿河台記念館320号室（東京都千代田区）
- ・参加者：23名

3.3 JCIE セミナー

(1) 第39回 JCIE セミナー「適切な屋外照明環境の実現のために－屋外照明設備による障害光規制ガイド改訂および光と照明に関する国際化」

- ・日時：平成29年6月20日（火）
- ・場所：連合会館402会議室（東京都千代田区）
- ・参加者：21名

(2) 第40回 JCIE セミナー「光源の演色性評価は新時代へ」

- ・日時：平成29年9月14日（木）
- ・場所：連合会館201会議室（東京都千代田区）
- ・参加者：68名

3.4 出版物販売実績（平成29年4月～平成30年3月）

(1) CIE 出版物：年間販売総数 153冊

CIE 224:2017	CIE 2017 Colour Fidelity Index for accurate scientific use	22冊
CIE 170-2:2015	Fundamental Chromaticity Diagram with Physiological Axes – Part 2: Spectral Luminous Efficiency Functions and Chromaticity Diagrams	10冊
CIE 150:2017	Guide on the Limitation of the Effects of Obtrusive Light from Outdoor Lighting Installations, 2nd Edition	6冊
CIE 226:2017	High-Speed Testing Methods for LEDs	5冊
CIE 208:2014	Effect of Stimulus Size on Colour Appearance	4冊
CIE 225:2017	Optical Measurement of High-Power LEDs	4冊

(2) JCIE 出版物など：年間販売総数 22冊

JCIE-003CIE S 025/E:2015	「LED ランプ，モジュールおよび照明器具の試験方法」解説	7冊
JCIE 翻訳出版 No.13	屋外照明設備による障害光規制ガイド	3冊
JCIE 翻訳出版 No.14	博物館展示物の光放射による損傷の抑制	2冊

4. 【その他】法人経営

4.1 アドバイザリー委員会（斎藤孝委員長）

第1回会議を平成29年12月20日に開催した。JCIEの現在の状況、特に財務と会勢について議論し、今後の活動方針について意見交換を行った。

4.2 諸会合

定時総会 平成29年6月21日（木）於：連合会館402会議室

理事会 6回開催（平成29年5月16日、8月30日、10月17日、12月20日、平成30年1月26日、3月16日）

4.3 会勢

	名誉 会員	終身 会員	正 会 員			個人 合計	法人会員	
			個人	法人・特別	小計		企業団体	口数
平成29年度 (2017年度末)	12	10	147	105	252	274	62	115
平成28年度 (2016年度末)	11	12	148	115	263	286	64	127
昨年度末との 比較増減	+1	-2	-1	-10	-11	-12	-2	-12

(2018年3月31日現在)

第7期事業報告 附属明細書

第7期事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。